

おじいさん・おばあさんと お店やさんごっこ

光徳保育所



収穫したよ。

ジャイアントカボチャ・綿・千成ひょうたん

あすなる児童館

世代間交流に、光徳地区の老人クラブの方を招いて、子どもたちと一緒に
お店やさんごっこをしました。一緒に
歌を歌ったり、手遊びや肩たたきなど
で、子どもたちと触れ合ってもらって、
緊張もとけ、普段おじいさん・おばあ
さんと触れ合う機会のない子どもは、
いつの間にか、ちゃっかり甘えている
姿も見られました。

たべものやおもちゃには、空
容器やリサイクル材を利用して製作し
た、本物のような「おいしそう」「す
ごい」と感心する品物がたくさん並ん
でいました。

いざ、お店が開店すると、店番側の



「どれにしよう...」どれも
おいしそうで、悩んでいます

年長児はおじいさんやおばあさんと一
緒に「いらつしやいませ、おいしいご
ちそうがありますよ」「はい、50円
です」と、威勢のいい声が出ました。
お客側は「あれもほしいし、どれにし
ようかな」と悩んでうろろしたり、
おじいさんやおばあさんに声をかけて
もらいながら、たくさんのおもちゃが
来ました。満足気な表情の子どもたち。
お店の品物もほとんど完売になるほど
大盛況でした。お弁当やさんもあり、
「一緒に食べよう。こっちにきて」と
誘いの声も出、賑やかな会食となりま
した。

帰られる時には、離れがなくなつて
涙の出た子もいました
が、子どもたちの心に
楽しい思い出となる交流
が出来た1日でした。ま
た、地域の人たちに触れ
合い、見守られながらあ
たたかい心を培っていく
のだと、交流の大切さを
感じたひとときでした。

11月に人権交流センターで解放文化 祭がおこなわれました。たくさんの方 々に来ていただきありがとうございました。 展示してあるジャイアントカボチャ を抱っこして比べてみたりしている人 もいました。重さを計ってみると、28キ ログラムありました。

見事ピツタリ賞が2人いました。名
和中学校の勝部祐太さんと、名和中
学校ALITのコートニー・ディクソン
さんでした。ニアピン賞は3人いまし
た。ピツタリ賞とニアピン賞
の方には児童館の子どもたちが
が手作りしたパンプキンジャ
ムをプレゼントしました。こ
のジャムは「これ本当にカボ
チャ?」「おいしいな」と
子どもたちに好評でした。

他に『綿』作りや『千成ひょう
たんに』



綿で作った
羊くん

うたん』作りにも挑戦しました。種
えから収穫、作品作りまでしました。
綿はよって編み込みをした壁飾り
や、共同作品として綿を羊の体毛に見
立てた飾りを作りました。感触が柔ら
かくて、子どもたちは「ふわふわだね
」「気持ちいいね」と手や頬に触れて
感触を楽しんでいました。千成ひょう
たんは長さ10cm位のかわいらしいのが
たくさん採れ、絵をかいたり、色を塗つ
たりして飾りました。



大きく育ったよ!!